

海外経済

		2019年9月	2019年10月
世界経済		世界の景気は、全体としては緩やかに回復しているが、アジアやヨーロッパの中に弱い動きがみられる。先行きについては、全体としては緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、通商問題を巡る緊張の増大、中国経済の先行き、 <u>政策に関する不確実性、原油価格の上昇や金融資本市場の変動等によるリスクに留意する必要がある。</u>	世界の景気は、全体としては緩やかに回復しているが、アジアやヨーロッパの中に弱い動きがみられる。先行きについては、全体としては緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、通商問題を巡る緊張、中国経済の先行き、 <u>英国のEU離脱の行方、金融資本市場の変動等によるリスクに留意する必要がある。</u>
アメリカ		アメリカでは、景気は回復が続いている。先行きについては、回復が続くと見込まれる。ただし、米中間の通商問題を巡る緊張の増大の影響、今後の政策の動向及び影響、金融資本市場の変動の影響等に留意する必要がある。	アメリカでは、景気は回復が続いている。先行きについては、回復が続くと見込まれる。ただし、米中間の通商問題を巡る緊張の影響、今後の政策の動向及び影響、金融資本市場の変動の影響等に留意する必要がある。
アジア地域	中国	中国では、景気は緩やかに減速している。先行きについては、当面は緩やかな減速が続くことが見込まれるが、各種政策効果が次第に発現することが期待される。ただし、米中間の通商問題を巡る緊張の増大の影響、過剰債務問題への対応、 <u>原油価格の上昇や金融資本市場の変動の影響等によっては、景気が下振れするリスクがある。</u>	中国では、景気は緩やかに減速している。先行きについては、当面は緩やかな減速が続くことが見込まれるが、各種政策効果が次第に発現することが期待される。ただし、米中間の通商問題を巡る緊張の影響、過剰債務問題への対応、 <u>金融資本市場の変動の影響等によっては、景気が下振れするリスクがある。</u>
	その他アジア	韓国では、景気は弱い動きとなっている。台湾では、景気はこのところ緩やかに回復している。インドネシアでは、景気は緩やかに回復している。タイでは、景気はこのところ弱い動きとなっている。インドでは、景気はこのところ弱い動きとなっている。	韓国では、景気は弱い動きとなっている。台湾では、景気はこのところ緩やかに回復している。インドネシアでは、景気は緩やかに回復している。タイでは、景気はこのところ弱い動きとなっている。インドでは、景気はこのところ弱い動きとなっている。
ヨーロッパ地域	ユーロ圏	ユーロ圏では、景気は緩やかに回復しているものの、一部に弱い動きがみられる。ドイツでは、景気はこのところ足踏み状態にある。先行きについては、基調としては緩やかな回復傾向で推移することが期待される。ただし、 <u>通商問題を巡る緊張の増大が世界経済に与える影響、政策に関する不確実性の影響等によっては、景気が下振れするリスクがある。</u>	ユーロ圏では、景気は緩やかに回復しているものの、一部に弱い動きがみられる。ドイツでは、景気はこのところ足踏み状態にある。先行きについては、基調としては緩やかな回復傾向で推移することが期待される。ただし、 <u>通商問題を巡る緊張が世界経済に与える影響、英国のEU離脱の行方の影響等によっては、景気が下振れするリスクがある。</u>
	英国	英国では、景気は弱い回復となっている。先行きについては、弱い回復が続くと見込まれる。ただし、 <u>EU離脱問題の動向によっては、景気が下振れするリスクがある。</u>	英国では、景気は弱い回復となっている。先行きについては、弱い回復が続くと見込まれる。ただし、 <u>EU離脱の行方によっては、景気が下振れするリスクがある。</u>

(注) 下線部は先月から変更した部分。